

シンポジウム題目：水圏における地域の生物多様性研究を通じた環境教育

●演題3：魚類を用いた干潟を学ぶ環境教育の試み

演者：阪本竜也

所属：宮崎大学大学院農学工学総合研究科

要旨：河口やその近くの海岸に形成される干潟は、埋め立てや護岸により日本各地で急速に失われてきた。干潟生態系の高い生産性や多様なサービスを鑑みれば、干潟環境の保全は急務であり、その啓発活動も同時に求められている。これまで、各地で干潟生物観察会などの環境教育活動が展開されてきたが、干潮時の干潟に出現する魚類に着目したものはほとんどない。干潟に生息する魚類については、底質・塩分などの物理的条件の影響を受けることがわかっており、かつ無脊椎動物と比べ種同定が容易であることから、フィールドで採捕される魚類から干潟環境の特異性や多様性を伺い知ることが可能であるといえる。そこで本発表では、現在演者が計画している魚類を通して干潟環境の生物多様性について学ぶことができる新たな体験学習の内容について紹介する。